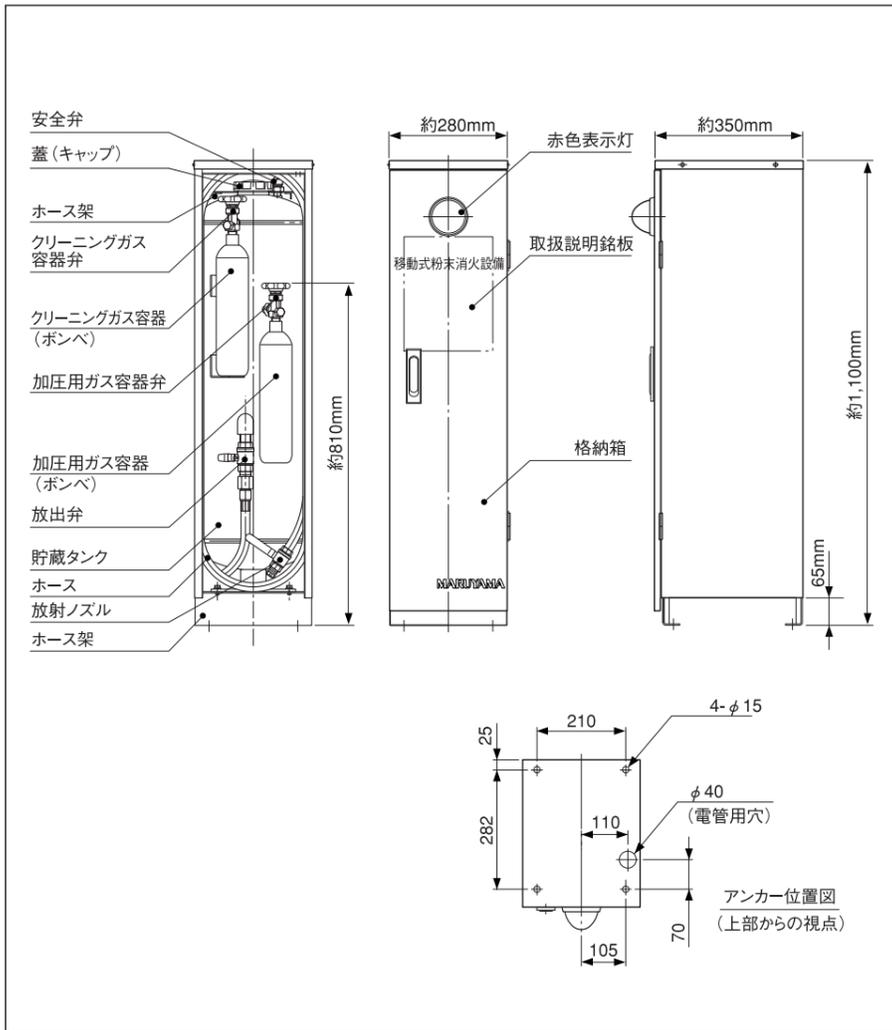
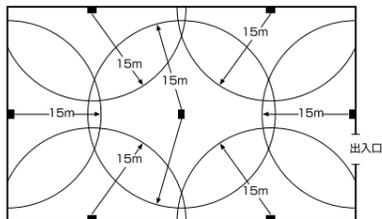


各部のなまえ・構造図



設置基準例

★防護対象物の各部分からホース接続口まで水平距離15m以下になるように設置して下さい。



再充填の方法

⚠再充填の作業は消防設備士等の資格を有する者が行って下さい。

●使用後の取扱い方法

1. 放出弁²を全開にして、黄色のバルブ¹(加圧用バルブ)も全開して下さい。
2. 放射ノズル弁³を全開にして薬剤貯蔵タンクの残留ガスを排出して下さい。

●クリーニング方法

1. ホース根元の金具をスパナで外して下さい。
2. ホース先端のノズルを外して下さい。
3. ノズルの代わりにクリーニング用金具を取付け、さらにこれをクリーニングガスボンベに取付けて下さい。
4. クリーニングガスバルブを全開しクリーニングを行って下さい。

※クリーニングを行うとホース元金具から残っている粉末が吹き出します。必要に応じてビニール袋等を用意して下さい。

●薬剤充填方法

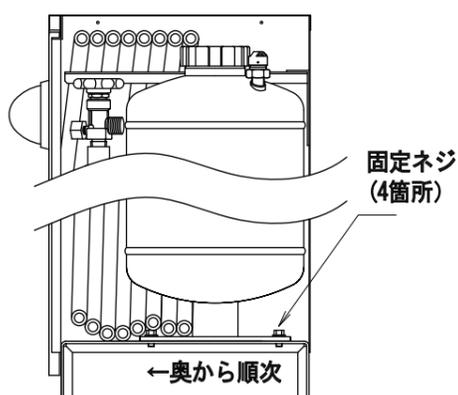
1. 別途圧力元を用意して加圧用ガス容器接続口より加圧の上、残薬剤を排出するか、固定ネジを外し薬剤貯蔵タンクを取り出して直接残薬剤を排出の上、新しい薬剤を充填して下さい。
2. 加圧用ガスボンベとクリーニングガスボンベを新品と交換して下さい。
3. 各バルブを使用前の状態に戻して下さい。

【操作バルブの状態】

加圧用バルブ	常時閉
クリーニングバルブ	常時閉
放出弁	常時閉

●ホースの巻き方

ホースは引き出し操作が容易にできるように、奥から順次巻いて下さい。



適応火災

第3種粉末<ABC>消火薬剤を充填した第3種移動式粉末消火設備で、普通(A)・油(B)・電気(C)火災に適応します。貯蔵タンク、加圧用ガス容器、ホース、放射ノズル等をコンパクトにまとめ設置場所を広く取る必要も無く、延焼速度の早い引火性液体火災の制圧、消火に短時間で性能を充分生かせる消火設備です。火災発生時には、20mホースを伸ばして火元を直接放射し消火します。

設置対象物

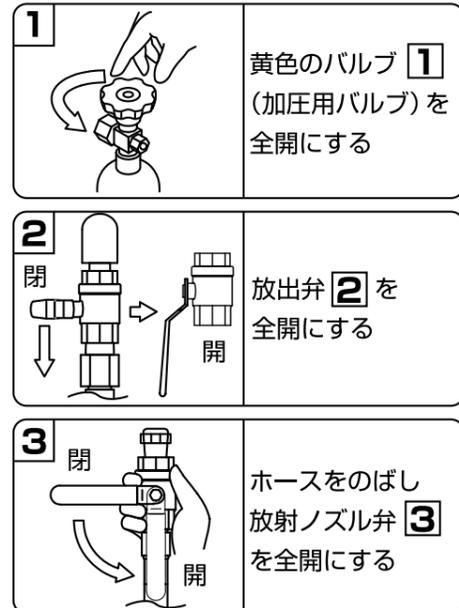
- 駐車場
- 油類を使用する工場、電気設備と油類が併用される工場(自動車・飛行機整備工場・格納庫等)
- 指定可燃物の内、可燃性固体類、可燃性液体類または合成樹脂類を貯蔵し、または取扱う建築物

設置後の確認

「加圧用バルブ」「放出弁」「放射ノズル弁」が閉まっていることを確認して下さい。

使用方法

使用方法は格納箱の内扉に表示しています。操作手順は各部分に数字で表示しています。順番に操作を行って下さい。



組立の方法

加圧用ガスボンベ・クリーニングガスボンベ・赤色表示灯は現地にて組立て下さい。組立は有資格者が行って下さい。

●加圧用ガスボンベの取付け(黄色のバルブがついたボンベ)

1. 蓋閉開スパナで薬剤貯蔵タンク最上部の蓋を緩め排圧をして下さい。(微量ですが排圧される場合があります)排圧が済んだら蓋を締めて下さい。
2. 貯蔵タンクの右前面にある加圧用ガスボンベ取付け金具のキャップを外し、加圧用ガスボンベを取付けて下さい。
3. 加圧用ボンベ梱包ダンボール内へ同梱されている『高圧ガス容器(特定容器)所有者』銘板へ必要事項を記載の上、加圧用ガスボンベ側面の正面より確認できる位置位置へ貼り付けてください。

●クリーニングガスボンベの取付け(緑色のバルブがついたボンベ)

1. 貯蔵タンクの左上前面の引掛け金具に、付属の結束バンドでクリーニングガスボンベを巻くように縛って止め、置き金具の上にクリーニングガスボンベを設置して下さい。
2. クリーニング用ボンベ梱包ダンボール内へ同梱されている『高圧ガス容器(特定容器)所有者』銘板へ必要事項を記載の上、クリーニング用ガスボンベ側面の正面より確認できる位置へ貼り付けてください。

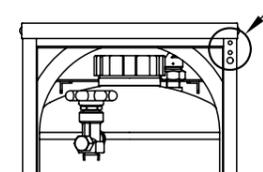
●赤色表示灯の取付け

1. 赤色表示灯のカバーを外し格納箱扉上部の穴にパッキン、本体の順に差し込み、2本のビスで取付けて下さい。
2. 表示灯とリード線をつなぎカバーを取付け、ホース引出しに差し障りがないようにリード線を格納箱の内側にステッカーなどで取付けて下さい。

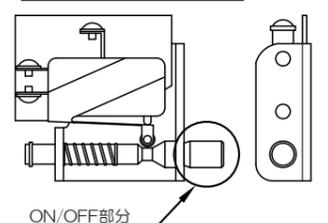
※リミットスイッチの取付け(オプション)

格納箱扉の開閉を知らせる移報スイッチです。

リミットスイッチ取付位置



リミットスイッチ機器図



格納箱前面上部右側に、リミットスイッチの「ON/OFF部分」が扉側になるようにビスで固定してください。

詳細な取付け方法はリミットスイッチに付属の「リミットスイッチ取付概要」を参照してください。